

創立60周年記念事業寄付金の募集について



駒場東邦は、平成29(2017)年度に創立60周年を迎えます。この間、駒場東邦を卒業した卒業生は14,000余名を数え、国内外を問わず各界で広く活躍する数多の人材を輩出して参りました。今日まで駒場東邦に関わり、支えてくださった全ての皆様に深く感謝いたします。

現在の駒場東邦の生徒たちも勉学、部活動に精進を重ね、それぞれの分野において活躍しています。文武両道で、ますます活発に生徒活動をすることができる環境にするため、創立60周年記念事業として、本校の長年の夢でありました現在のグランド東南の角にある細長い旧日通倉庫の跡地を校地として取得してグラウンドを整備することが決定しました。取得用地のおおよそ3分の1部分は駒場東邦が校地として使用します。

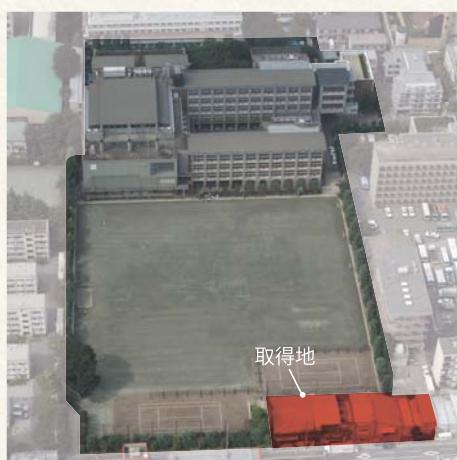
この記念事業を実施するにあたり、学校法人東邦大学、邦友会(同窓会)、菊友会(卒業生保護者の会)、保護者および教職員が一体となって創立60周年記念事業の準備を進めております。「駒場東邦中学高等学校創立60周年記念事業寄付金」として、本年度も広く皆様からご寄付を募り、次世代を担うリーダーを育てるため、教育環境の充実を記念事業として推進して参りたいと考えております。

皆様におかれましては厳しい経済事情の折り、多大なご負担をおかけいたしますが、本趣旨にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



「駒東の3F精神」は、第2代校長である高山政雄先生が好んで使った言葉で、男子校である本校の合言葉として語り継がれています。自主独立の気概を標榜する本校にとって、この3つのFは、考え、行動する際の規範であり、それが「紳士たれ」という駒東生の活動の原動力となって受け継がれています。

2017年5月
駒場東邦中学高等学校
創立60周年記念事業実行委員会



◇ご厚志に対する感謝◇

ご寄付をいただいた方のご芳名(法人の場合、法人名と代表者名)を今後設置予定の銘板に刻印し、末永く顕彰させていただきます。また、本校のホームページと「学校法人東邦大学広報誌」にも掲載させていただきます。なお、匿名を希望される場合はご意向に従い取り扱いさせていただきます。

寄付金の累計

件数/558件 寄付金額/38,501,951円

[平成29年4月28日現在]

60周年を迎える駒場東邦のさらなる教育環境の充実に向けて



駒場東邦の未来に向けて

駒場東邦中学高等学校は、昨年創立90周年を迎えた学校法人東邦大学の第2の付属中学高等学校として、1957年(昭和32年)学祖額田豊初代東邦大学理事長が、当時、都立日比谷高等学校の校長であった菊地龍道先生を校長として迎え、創立された学校です。2017年(平成29年)には創立60周年を迎えますが、創立者の「中等教育こそ國の要」の思いと、菊地初代校長の「頭脳の資源化」の思いが、国内外で広く活躍する多くの優秀な人材を輩出してまいりました。この60周年の記念事業を進めるにあたっては、学校法人東邦大学も全面的にサポートさせていただきたいと考えています。更なる駒場東邦の未来に向けての事

業展開には、何と言っても強固な財政基盤が必要であり、ここに改めて募金をお願いする次第です。

いただいた浄金は、生徒の教育、文化活動をするための校地取得とグランド整備等の環境設備への大きな資金源となります。

駒東は在学生並びに教職員そして後援会の皆様が一体となって、これまで素晴らしい伝統と実績を築かれてきました。この強い絆の証が、この募金活動にあらわれてくれる事を祈っています。各位におかれましては、この目標達成のため、ご援助いただけますことを心よりお願い申し上げます。



学校法人東邦大学
理事長 炭山 嘉伸

未来へ繋ぐ

駒場東邦は「自ら考えて行動する」を目標にして教育活動を行っています。

先輩から後輩に受け継がれています。それは、部活動、委員会活動、そして体育祭、文化祭といった行事などで、協調性・思いやりの心の育成、生徒一人一人が良いところをお互いに認め合い、価値観の異なる意見も尊重し、お互いが厳しく、時には温かく励まし合って、目標に向かって困難を克服しようとす

る姿勢です。

2017年に創立60周年を迎えます。次世代を担うリーダーを育てるため、教育環境を充実させることを記念事業として推進し、伝統を未来に繋ぐ力強い礎になればと考えております。本趣旨にご理解を頂き、格別のご協力とご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。



駒場東邦中学高等学校
校長 平野 勲

新たな飛躍に向けて応援しよう

母校駒場東邦は来年で還暦を迎えます。開校からの歴史を見ると、一直線の上昇のようで、下落したり、伸び悩んでいた時期は無かったように思います。ずっと上昇し続けた60年であり、素晴らしいことだと思います。大学進学では目覚ましい躍進ぶりですが、同期の集まり、クラブOBの集まり、菊友会の集まり等に出てみると、全員が「駒場東邦大好き人間」の集団だなと思います。中学・高校の先生方を含めたその母校愛が「穏やかで温かい校風」を作り上げていると思いますし、世間からもそのように認知もされていて感じます。礎を築かれた先人に敬意を表しな

がら、それを拡大発展させていった後輩達にも大いに感謝致しております。私は同期会等の集まりで常に「我々は後輩の玉の輿に乗っている」と言っています。駒場東邦が60周年を迎えるということは大変おめでたいことだと思いますが、これは未来への一里塚です。母校を更に良くするためにには資金もかなり必要になります。

東邦大学および駒場東邦には、記念事業の寄付募集に力を注いでいただいております。邦友会も力を入れて、募金が満額になるように皆さまのご芳志をお願い申し上げます。



邦友会
会長 杉浦 滋彦